

表題) 国際協力・開発分野の団体に活躍する学生を主人公とした、ストーリー性重視で、若者中心に国際問題啓発へと「間接」的につながるアニメを作る!

久保井颯太

1)「国際協力」ってどうよ? ~かっこいいけど・・・、ね?~

国際協力って聞いて、どう思うかな?入学したての新入生だった私はかっこいいって思った。そんな経緯で模擬国連のサークルに入った。それ以降国際問題にずっと興味があって、将来漠然だけど、国際問題を解決する仕事に就きたいって思ってる。話を戻すと。自分みたいに国際協力をかっこいいって思う人もいるけど、「強そう、イカツイ」って感じる人も少ない。でも、国際問題の中でも、市民の参加が必要となる機会はとて多く、その理解はどの人にも不可欠になってくる。例えば、国連が発表したSDGsのゴールの目標達成には、食や水、など私たちの生活に関わることが多くある。これらの問題って市民一人ひとりの意識も大切。また、他国で起こっている問題も人事じゃないよね。飛び火が来なくとも、他の国の人苦しむ現状を見ると、悲しくなることある。自分をもっと多くの人に国際協力に関わって欲しいと思う。少ない人数で背負えない国際問題を皆で背負う世界になって欲しいと思う。

## 2) 「アニメ」ってどうよ？ ～バカにされたらプラチナムかつく～

自分は国際協力の分野で将来働きたい、意識高そうなんて言われるんだけど、同時にアニメが大好きなアニオタです。

突然だけど、アニメって、国際問題と同じくらい社会に理解されていないと思う。アニメの中でも、広く認められているアニメもあるけど、「オタクっぽい」って認識されて拒絶されてるアニメってあると思う。でも、アニメの中には、いじめや死との向き合い方など、偽物だけど本物の世界よりも「リアル」な世界を見つめる作品も少なくない。それを知らないで、「オタク」って、ドラマを見て現実逃避する人とかに批判されると、プラチナ（ちょっと）ムかつくよね笑。

（「プラチナムかつく」は「化物語」から～）

## 3) 「アニメキャラ」と「国際問題」

「アニメ」が求めている社会からの真っ当な評価、国際問題を市民から解決していく為に必要な、市民の国際問題とそれに携わる人の理解は必要だな・・・。

あれ「アニメ」と「国際問題」が抱える問題ってお互いに解決しあえるんじゃない・・・？ 突然そう思った。

#### 4) アニメでしか伝えられない「国際問題」

～アニメなら世界の現実を伝えられる！？～

国際問題や社会問題を知るとはいえ、途上国にある国際問題や、学生団体や NGO や国連の活動を実際に見て知るのは大変だし、本から理解するのは、もっと難しいかもしれない。そこでアニメ登場。アニメの登場人物を国際協力に携わる人に置き換えてみる（イメージは宇宙兄弟）。アニメ特有のストーリー性を利用することを通して、容易な理解を促す。アニメ監督が主体となって、監修は国際協力を行なっている団体や国連などが監修すると思う。主人公は元々国際問題に興味ない学生とかが面白いと思う。

#### 5) アニメで国際協力を伝えるポイント～間接っぽくする～

とはいえ、若者啓発の為のアニメなんて知ったら、見る側は、「啓発されてる」って感覚があって、純粋にアニメを楽しめなくなる。楽しくて、ワクワクしなきゃ、そもそもアニメ見ようっていう気持ちにならない気がする。やっぱ、物語性が大事だな、と思う。

#### 6) アニメによる社会運動の促進～私達で世界を救っちゃおう★～

アニメと国際協力のコラボは、アニメグッズ販売の金額を国際協力資金に回すことや、社会キャンペーン（募金やフォトアクションなど）を行う事も、容易に可能なんじゃないかなと思う。また、登場人物一人一人に、役割がある事を伝えることを通して、自分の役割を見出せてない人に、自分の役割を見つけ出すことや、自分でできることを挑戦する事に繋がるんじゃないか、と思う。